

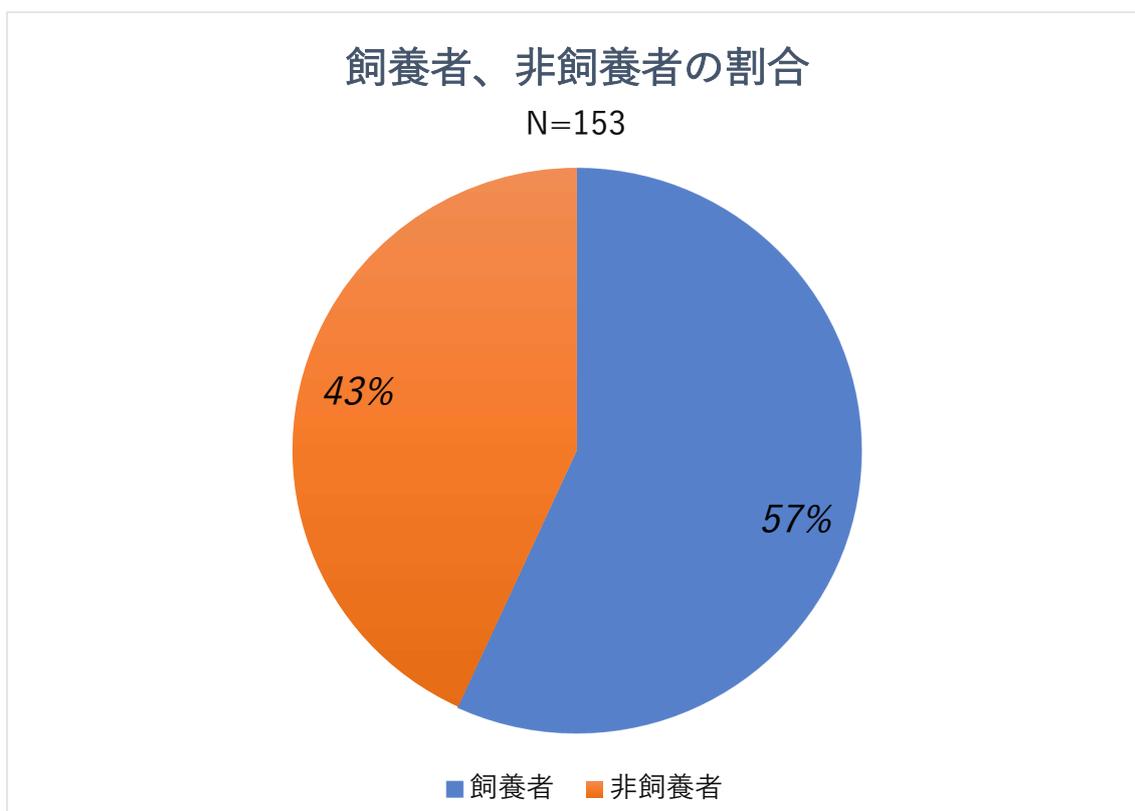
シンポジウムアンケート集計結果

◆ 基本情報

人とペットの災害対策シンポジウムの参加者 273 名を対象にアンケートを行い、153 名から回答をいただいた。下記はその結果を集計したものである。

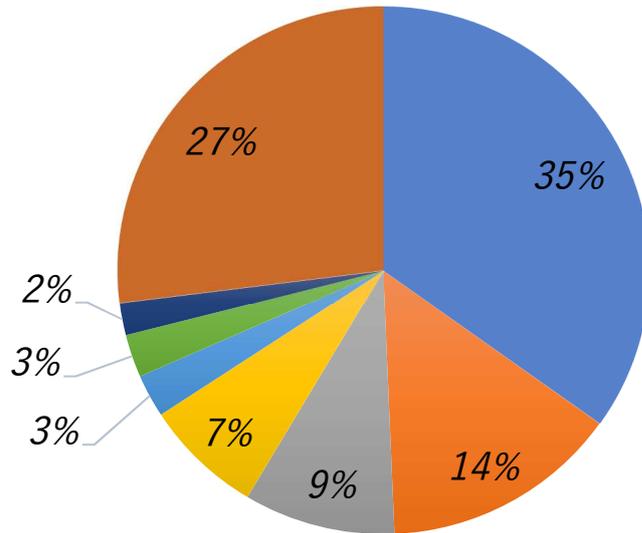
また、各設問において「その他」と回答し、具体的な内容を記載していただいたものに関しては一部を抜粋し記載している。

◆ 参加者情報



居住地域（都道府県）

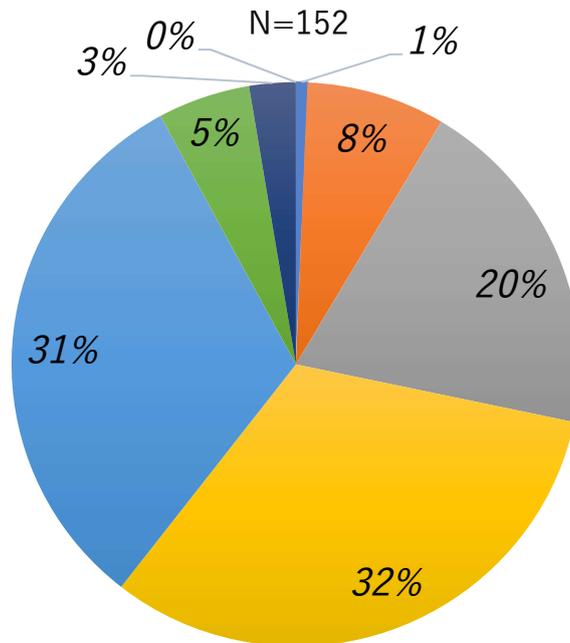
N=152



■ 東京都 ■ 神奈川県 ■ 千葉県 ■ 埼玉県 ■ 愛知県 ■ 静岡県 ■ 茨城県 ■ その他

年齢

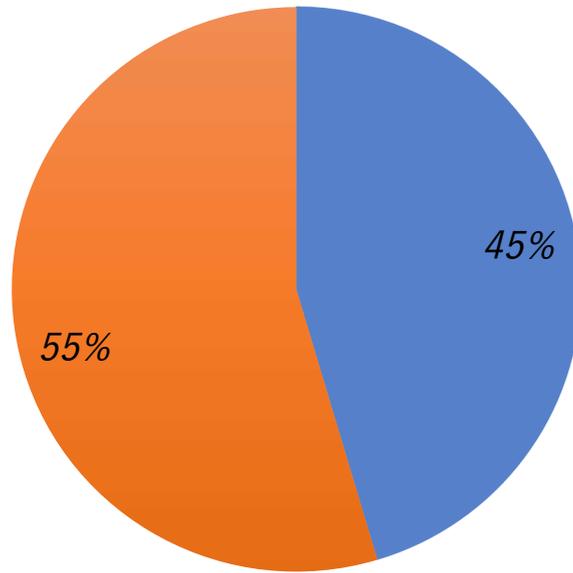
N=152



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代以上

性別

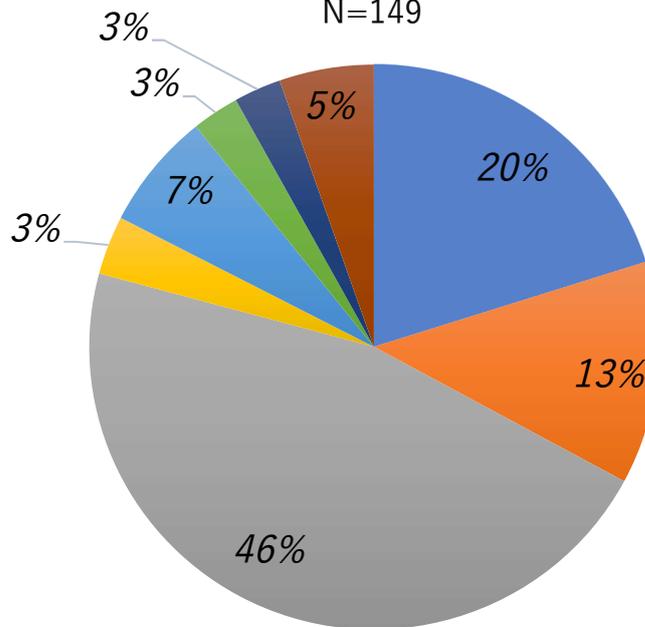
N=152



■ 男性 ■ 女性

職業

N=149

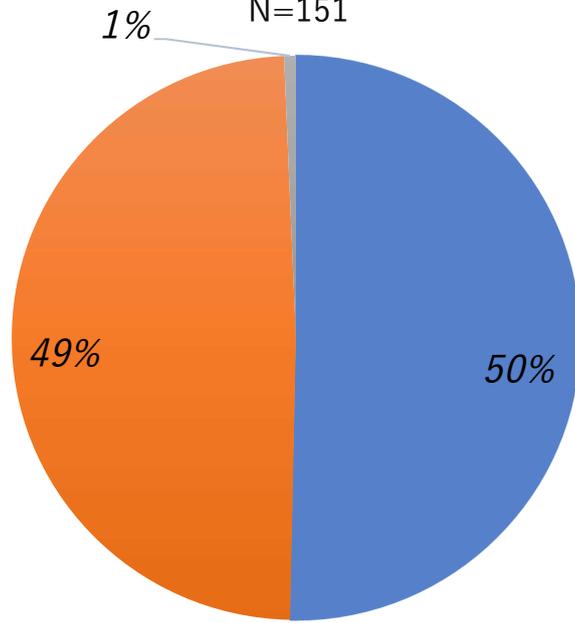


ボランティア
団体代表/主婦
/会社役員
/NPO役員
等

■ 会社員 ■ 自営業 ■ 公務員 ■ 団体職員 ■ パート ■ 学生 ■ 無職 ■ その他

住居形態 1

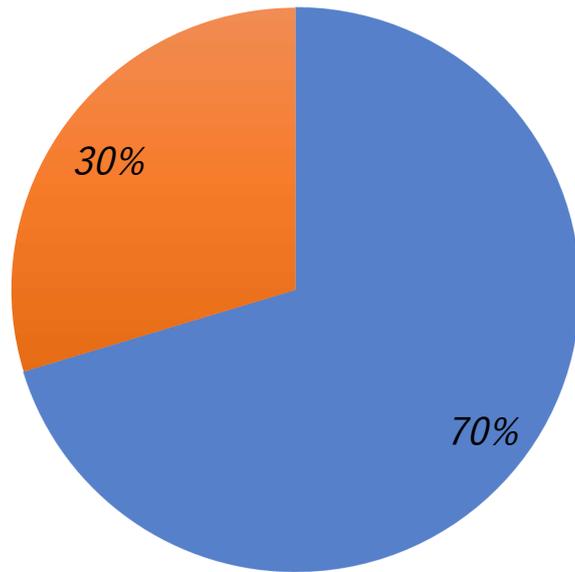
N=151



■ 戸建て ■ 集合住宅 ■ その他

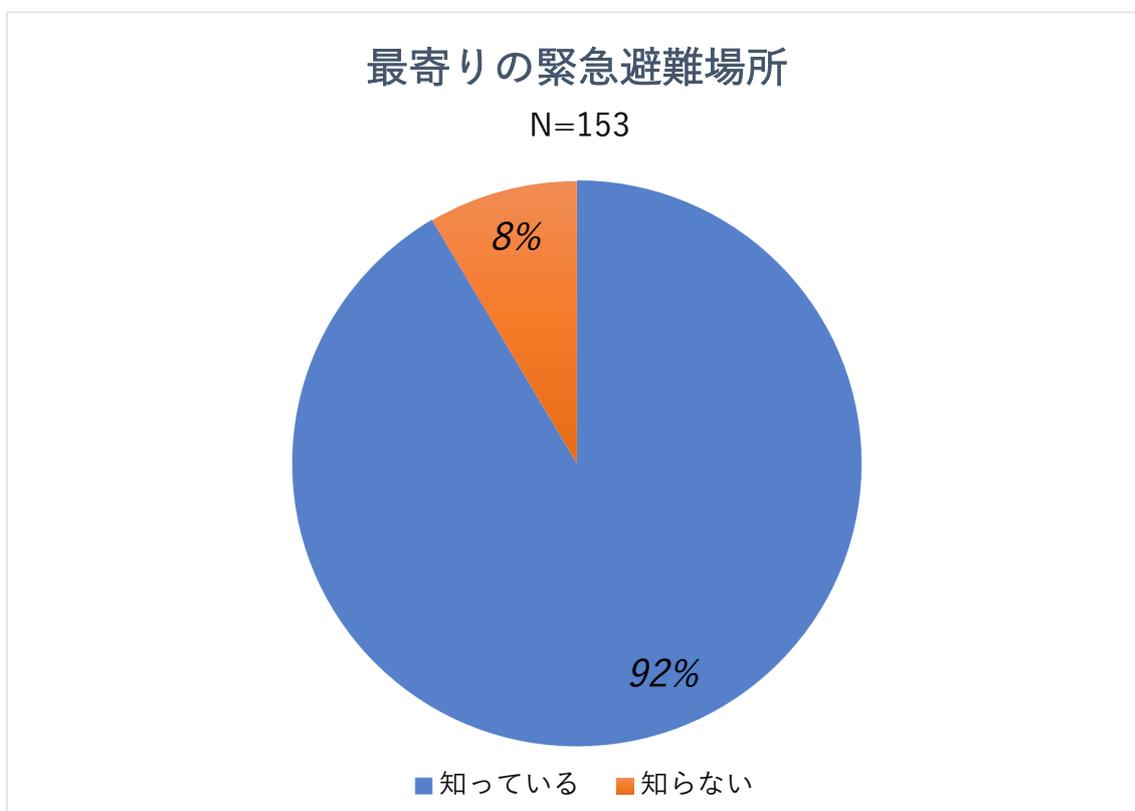
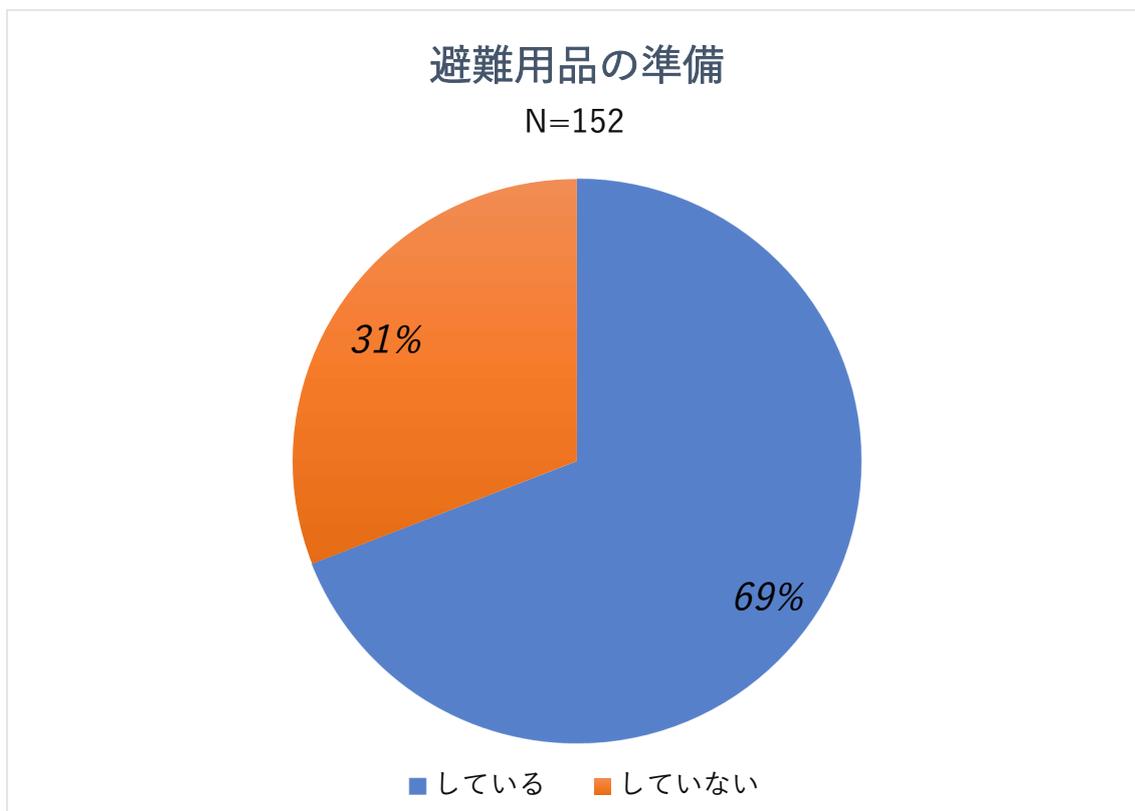
住居形態 2

N=128



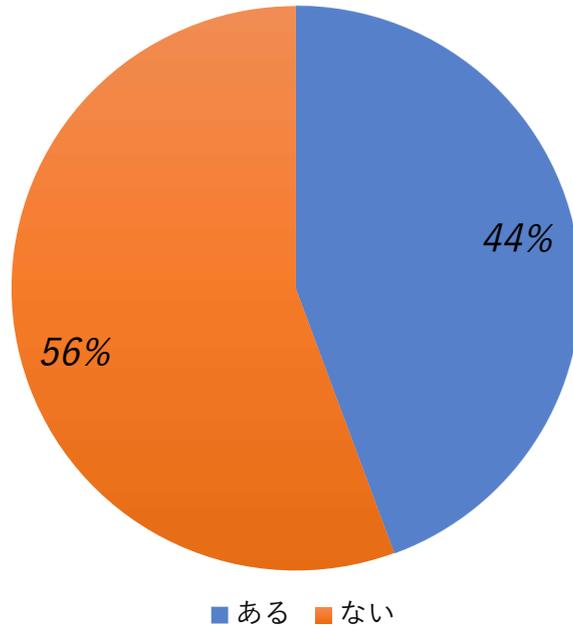
■ 自己所有 ■ 賃貸

◆ 災害への備え



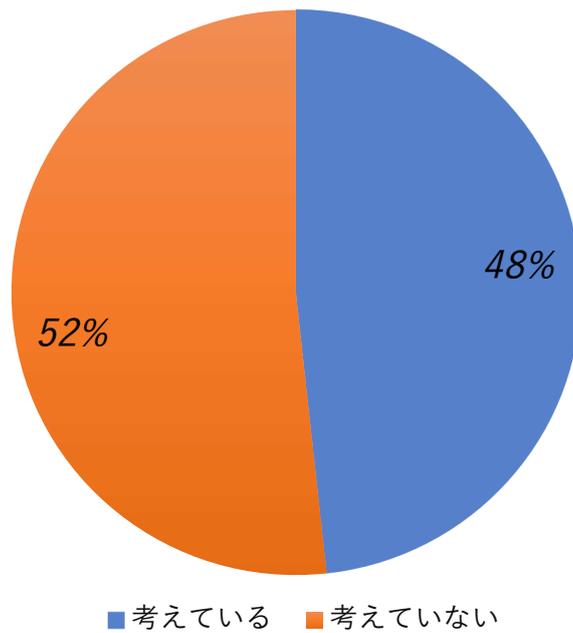
避難訓練への参加経験

N=151



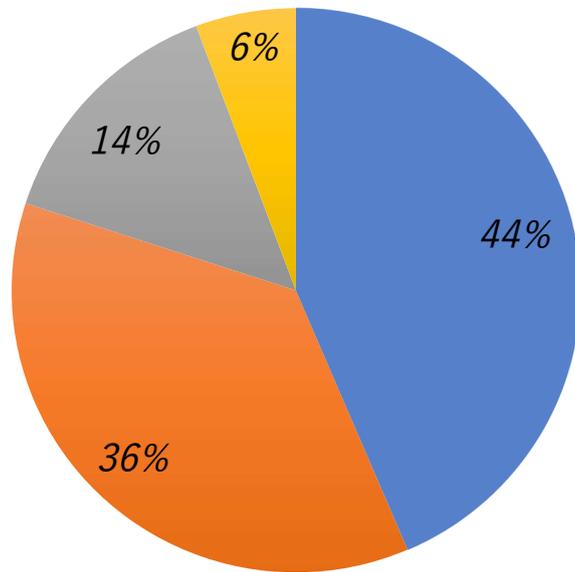
車中泊など避難所以外での避難方法

N=145



避難所での希望飼養形態

N=140



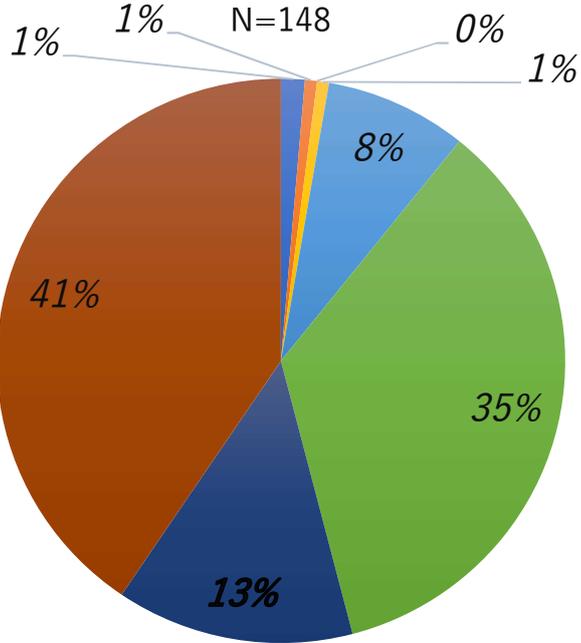
専用飼育場所
の設定/車中
泊/居住空間
と区別した飼
養場 等

■ 室内同居 ■ 室内別居 ■ 屋外飼養 ■ その他

◆ シンポジウムに関して

開催を何で知ったか

N=148

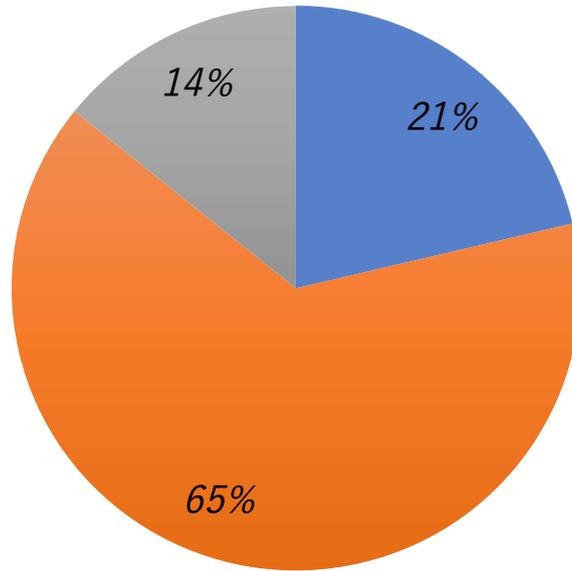


市役所の案内
を見て/フェイ
スブック/チラ
シ案内/環境省
メルマガ 等

■ テレビ ■ 新聞 ■ ラジオ ■ 雑誌 ■ ポスター ■ インターネット ■ 知人の紹介 ■ その他

参加理由

N=153

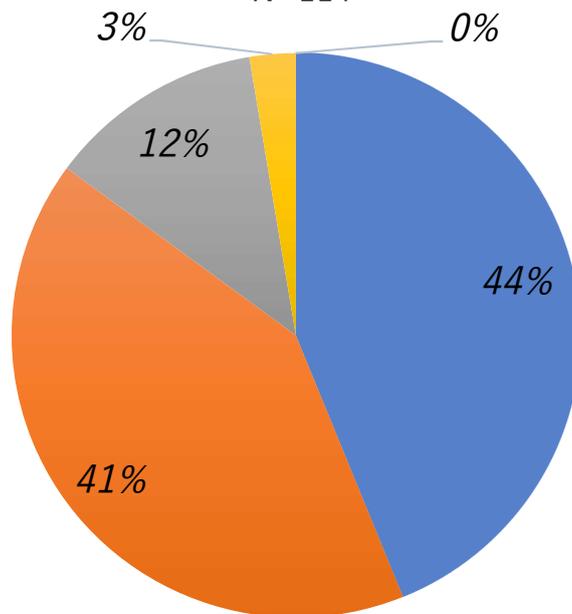


業務のため/本市も対応検討中なため/アニマルウェルフェアを勉強中/災害担当のため等

■ ペットを飼っているから ■ ペットの防災に興味があったから ■ その他

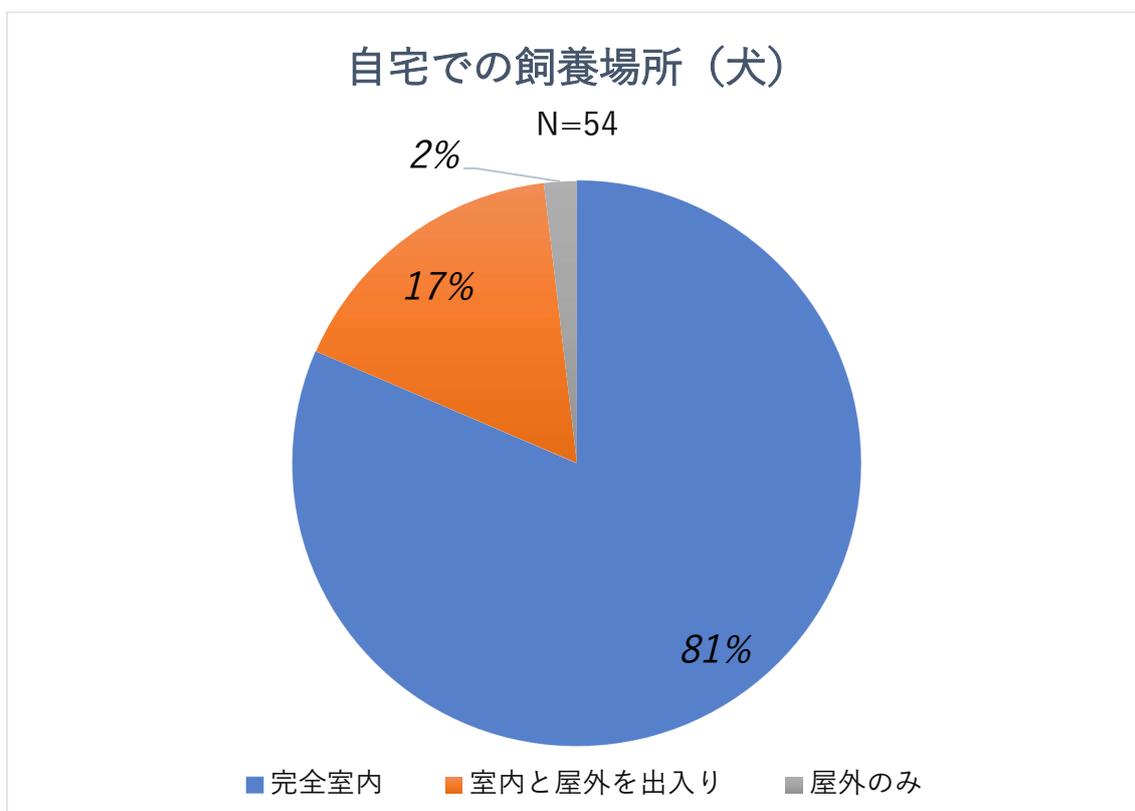
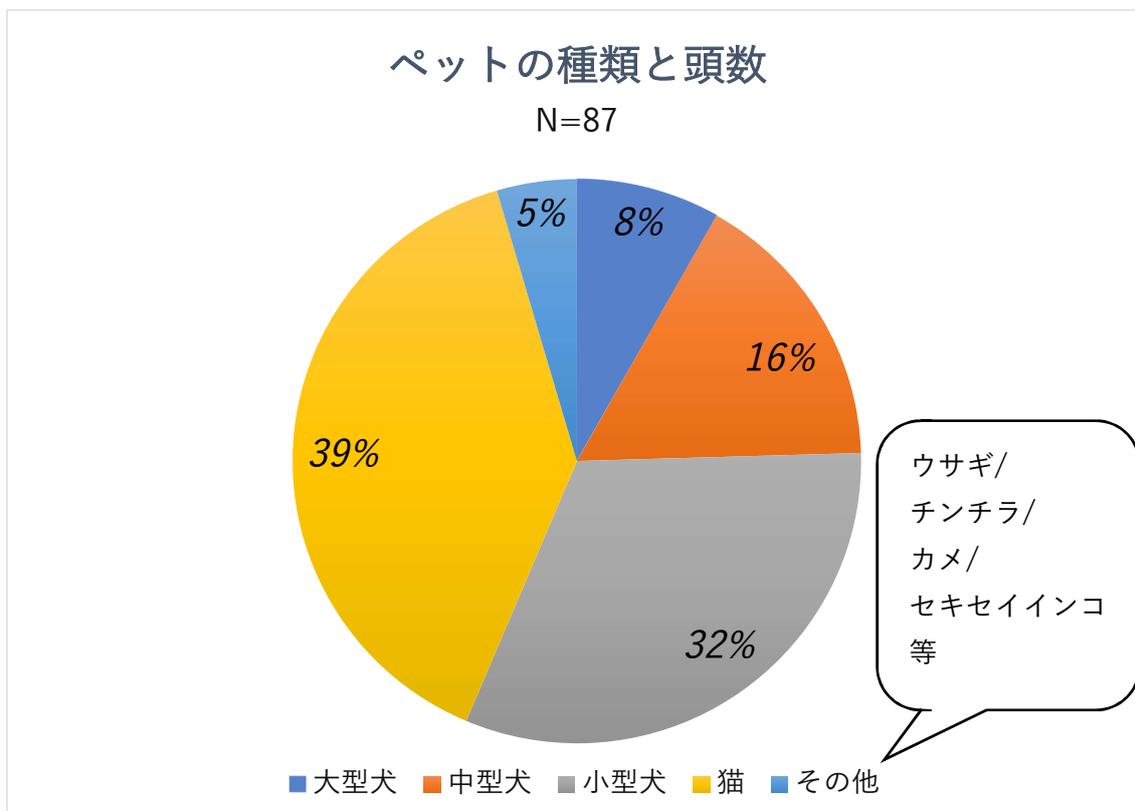
シンポジウム満足度

N=114



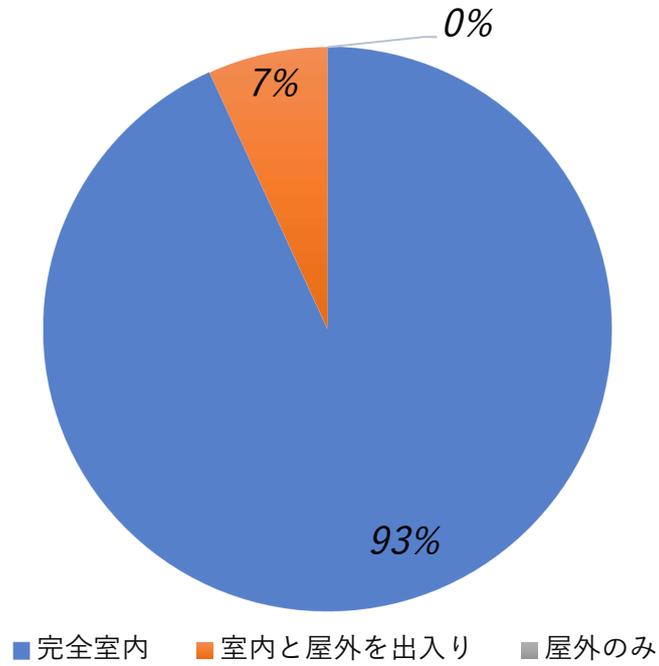
■ とても満足 ■ やや満足 ■ 普通 ■ やや不満 ■ とても不満

◆ 飼養者への質問（ペット情報）



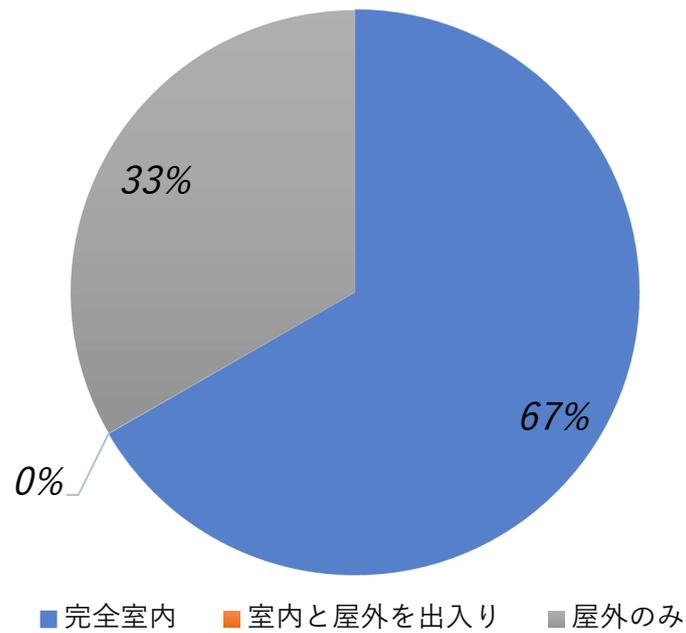
自宅での飼養場所（猫）

N=44



自宅での飼養場所（その他）

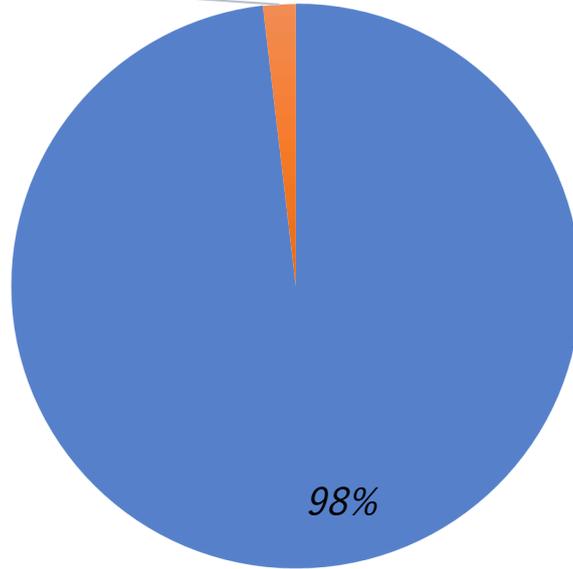
N=3



予防接種（狂犬病）

N=54

2%

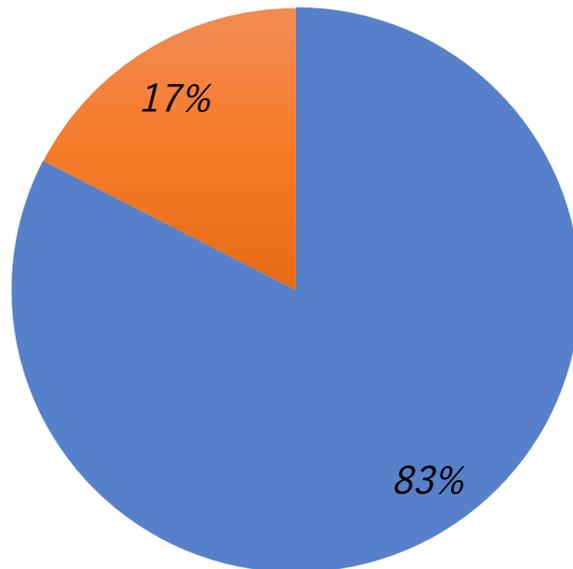


■ 済 ■ 未

予防接種（ワクチン接種）

N=86

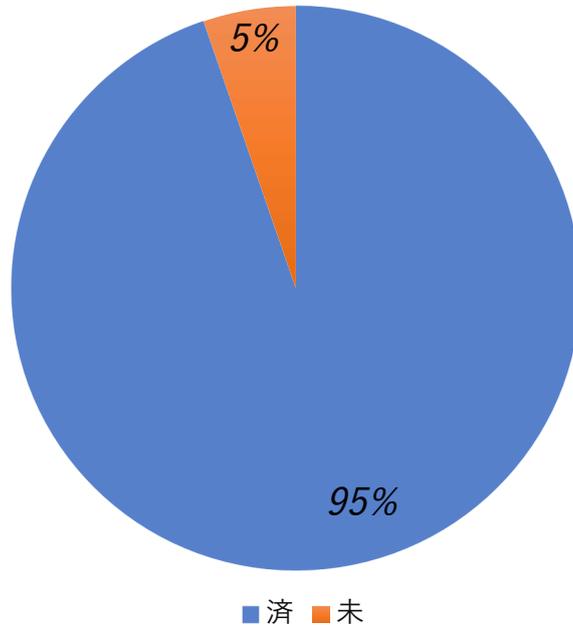
17%



■ 済 ■ 未

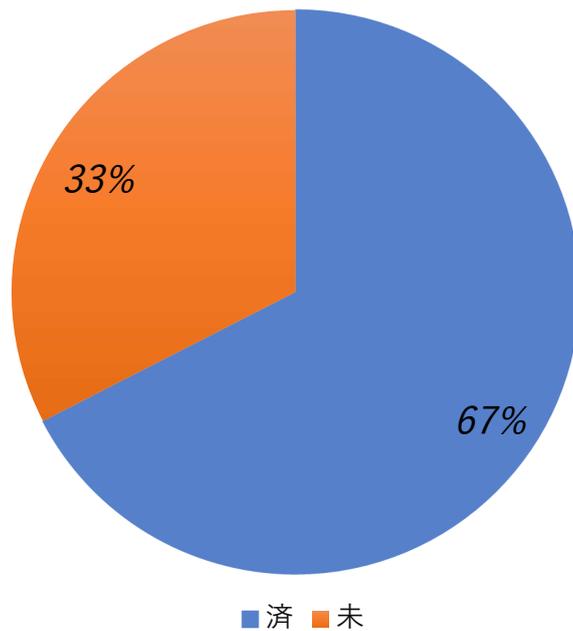
予防接種（フィラリア予防）

N=57



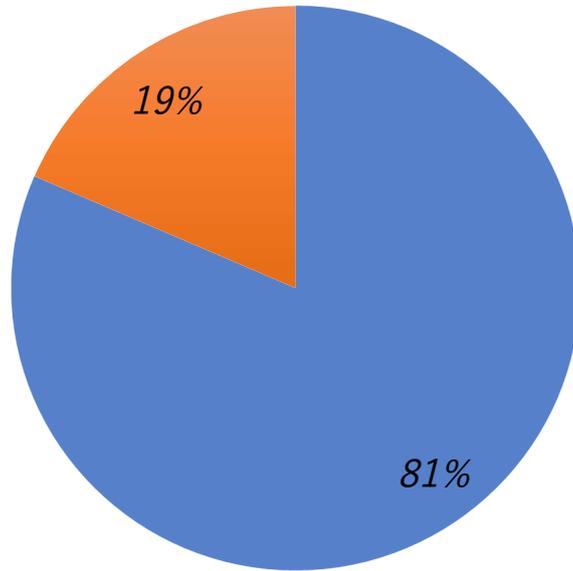
予防接種（ノミ・ダニ防除）

N=86



避妊去勢（犬）

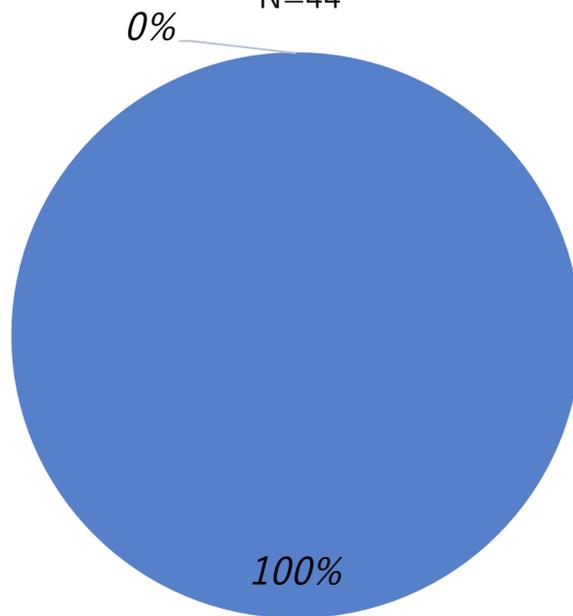
N=54



■ している ■ していない

避妊去勢（猫）

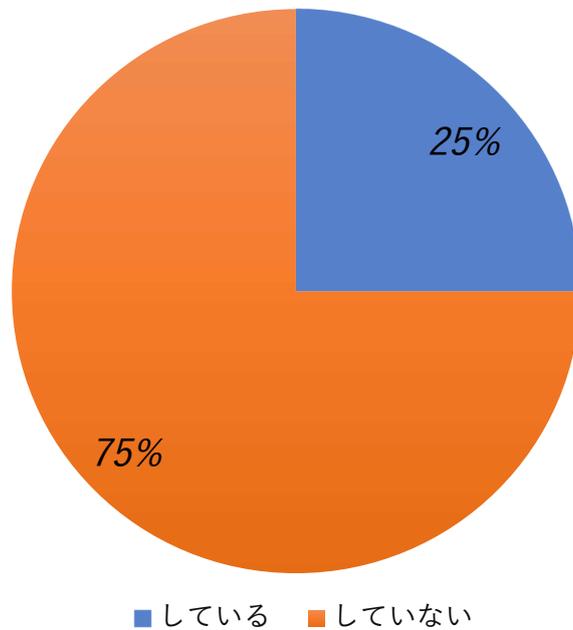
N=44



■ している ■ していない

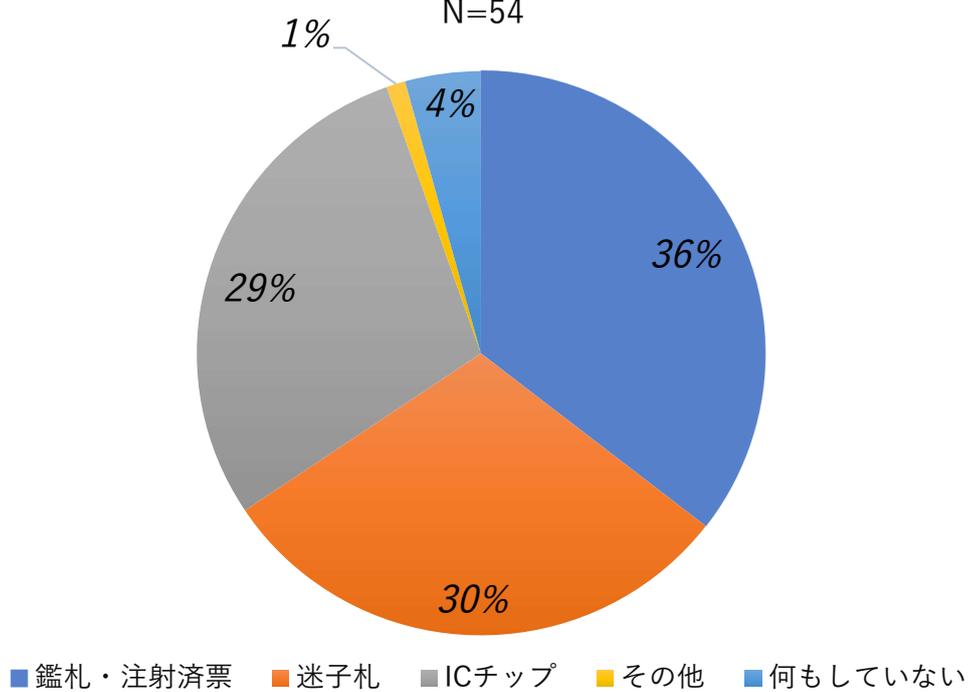
避妊去勢（その他）

N=4



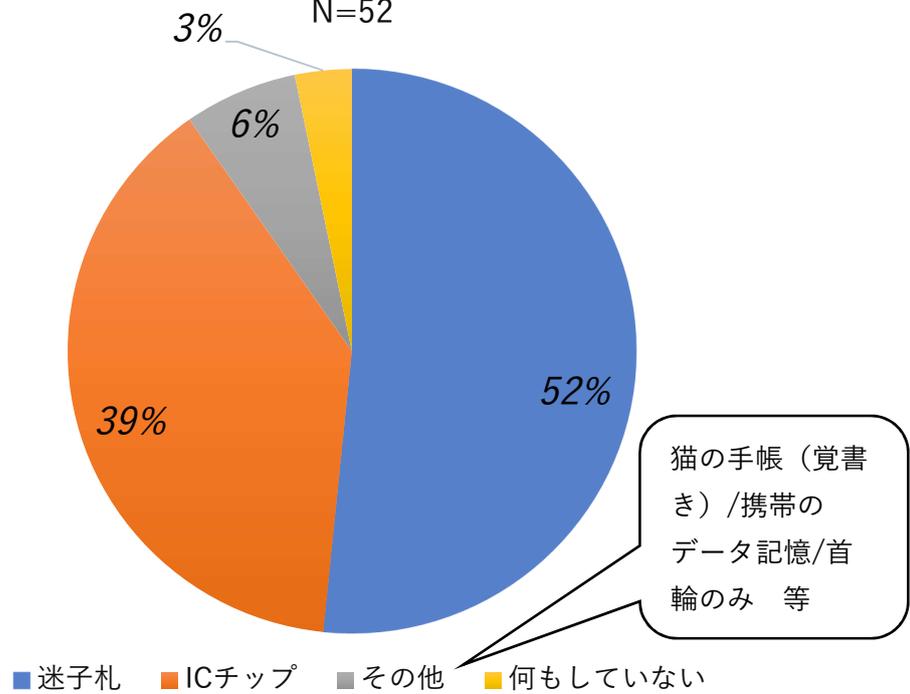
飼い主明示方法（犬）

N=54



飼い主明示方法（猫）

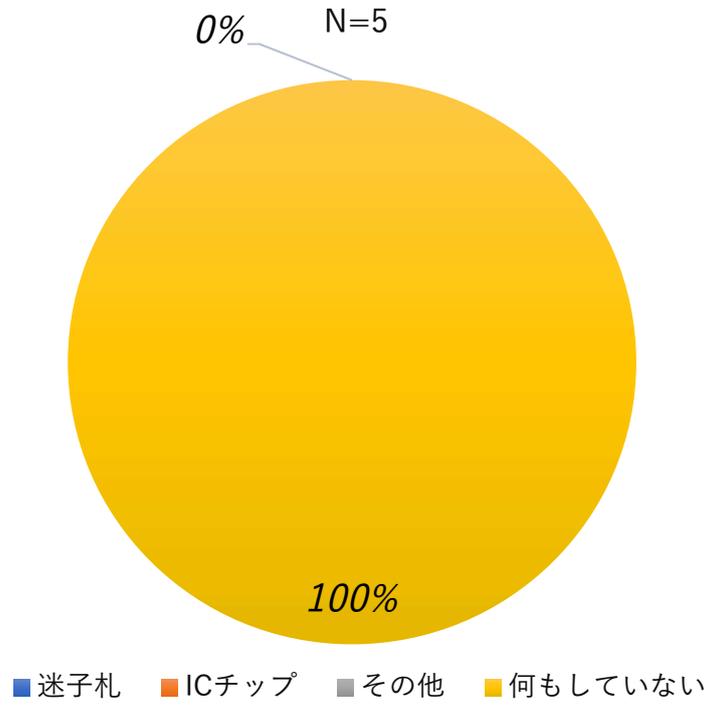
N=52



猫の手帳（覚書き）/携帯のデータ記憶/首輪のみ 等

飼い主明示方法（その他）

N=5



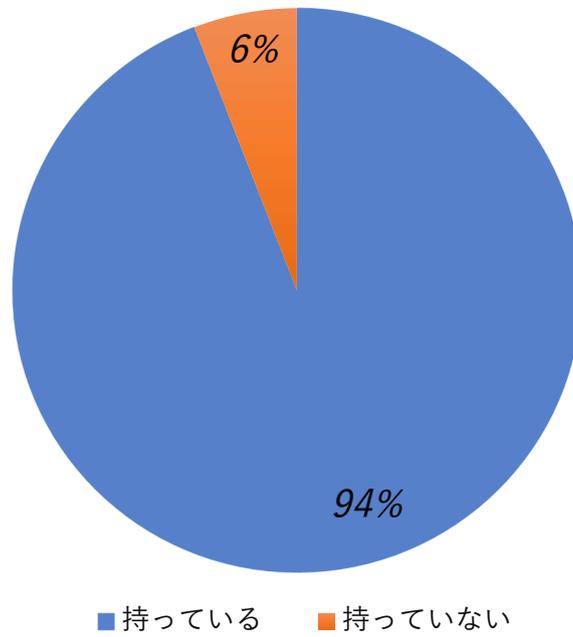
0%

100%

■ 迷子札 ■ ICチップ ■ その他 ■ 何もしていない

ペットを入れるケージ

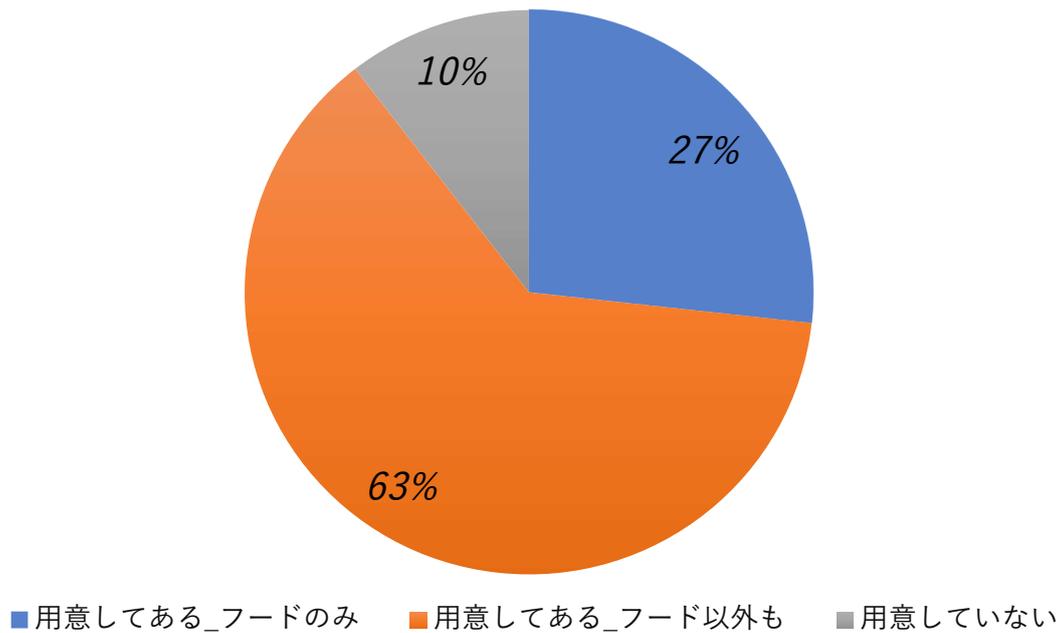
N=85



◆ 飼養者への質問（災害への備え）

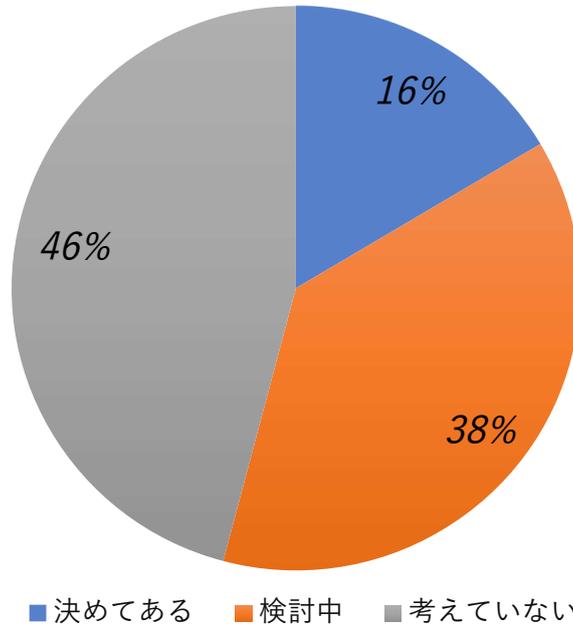
ペットのための備蓄

N=86



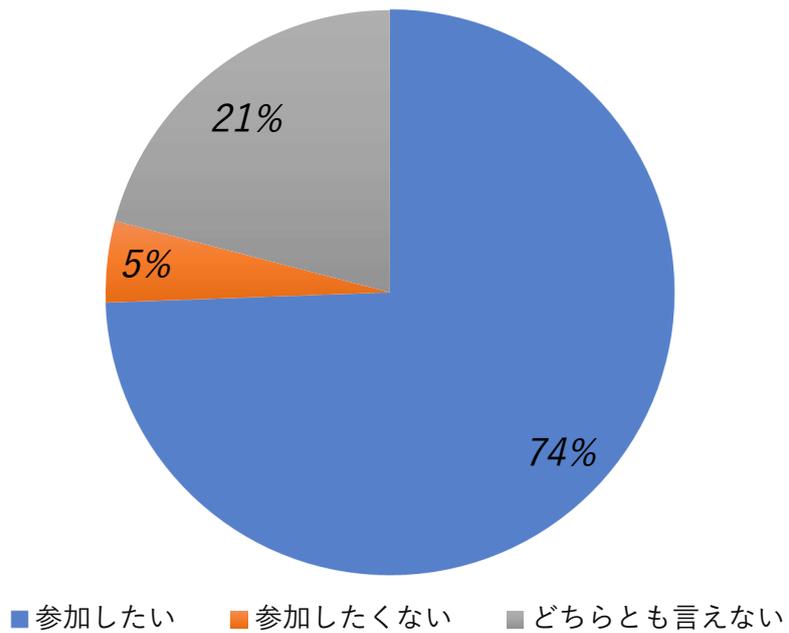
緊急時の一時預け先

N=85



ペット同行避難訓練に参加したいか

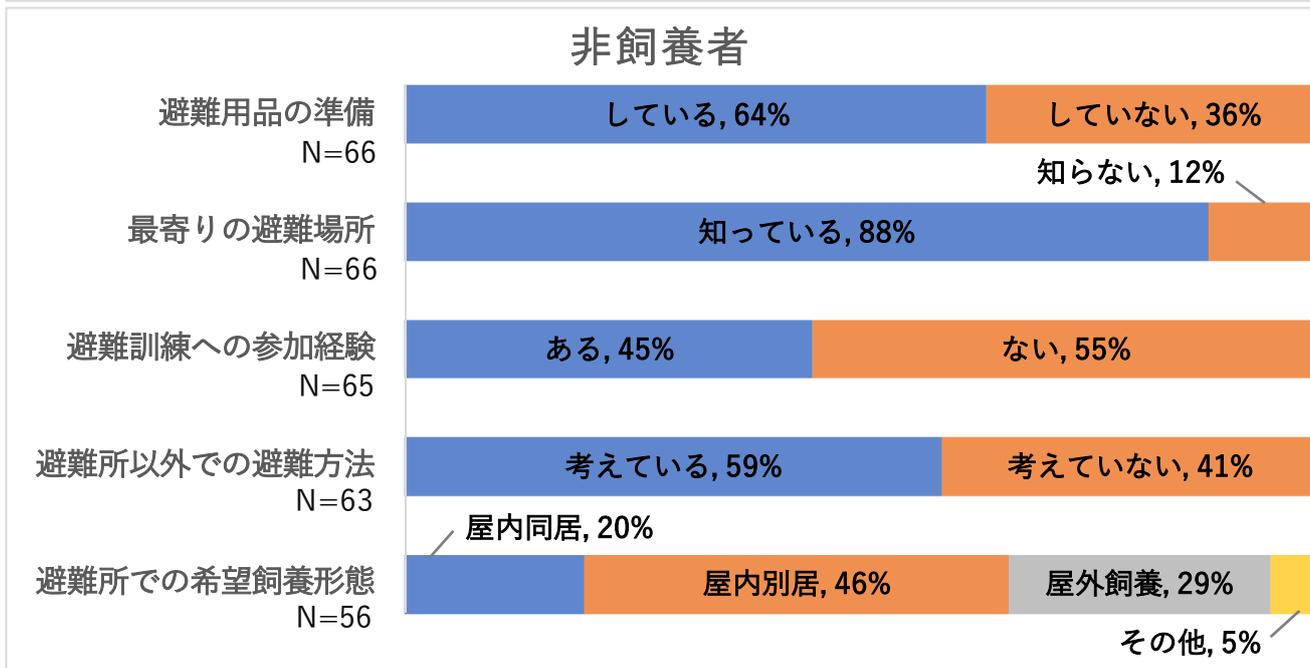
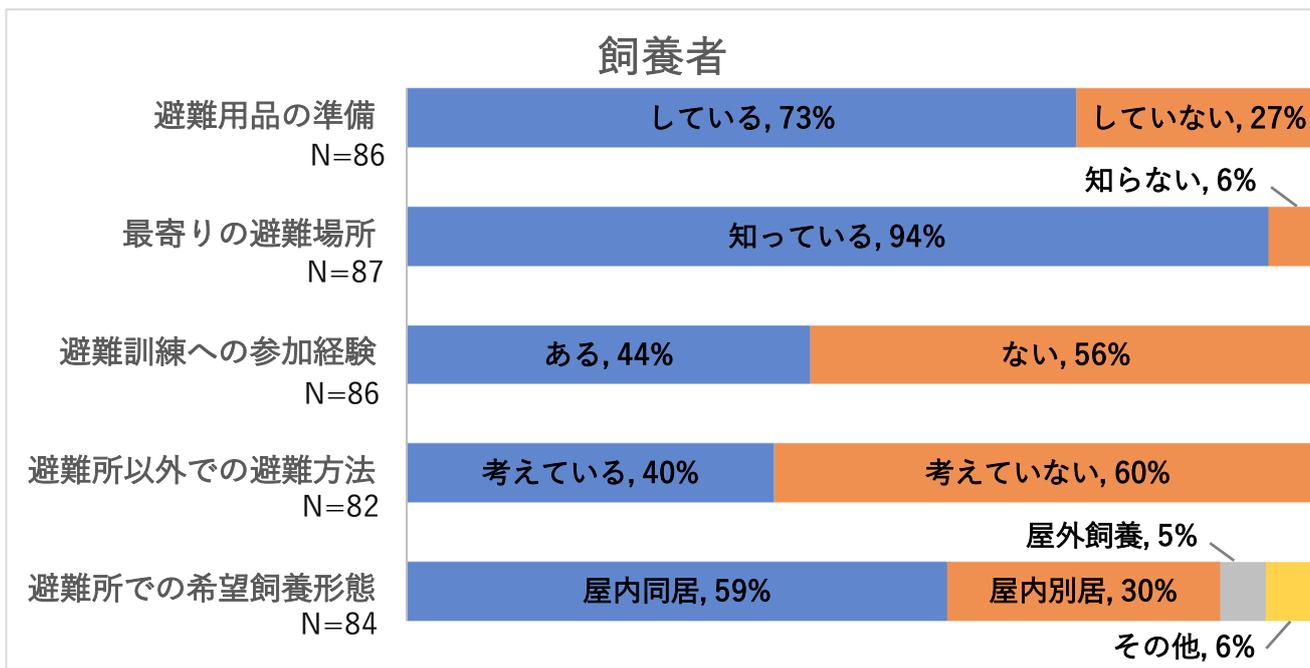
N=86



◆ <<比較>>飼養者と非飼養者の災害への備え

【考察】

- ・ ペット飼養者は、ペット非飼養者に比べて災害に対する意識が総じて高い。
- ・ 避難所以外での避難方法を考えている割合はペット飼養者に比べてペット非飼養者の方が高い。
- ・ 避難所におけるペットの飼養形態に関しては、ペット飼養者は屋内で共に生活したい傾向が強いが、非飼養者はペットとの住み分けが必要であるという傾向が強い。

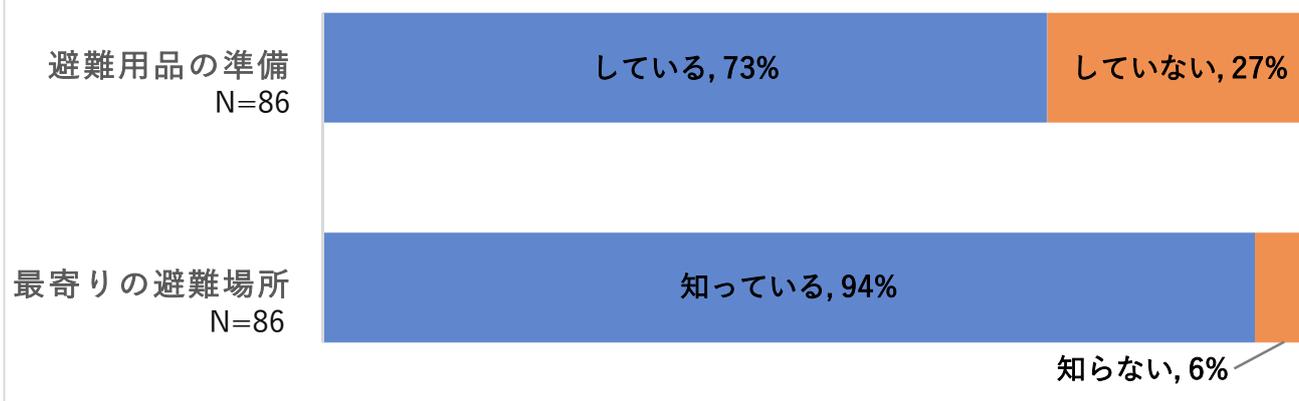


◆ <<比較>>飼養者を対象とした、災害への自身の備えとペットの備え

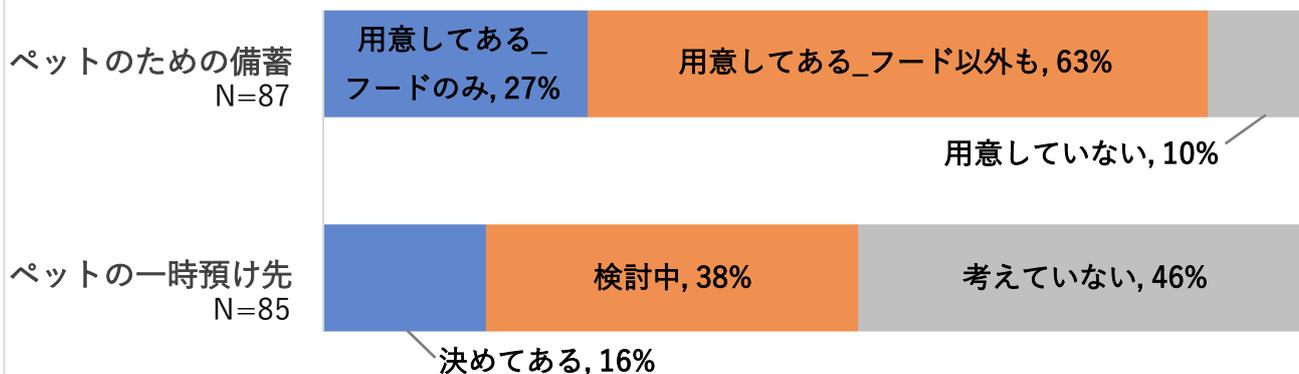
【考察】

- ・ ペット飼養者は災害への自身の備えはもちろんのこと、ペットのための備蓄についても準備している割合が高い。
- ・ 緊急時のペットの一時預け先について決めている割合は低い。

災害への自身の備え



災害へのペットの備え



◆ 自由記入欄に寄せられた回答（回答数の多いものを抜粋）

Q：ペット飼養について避難所や仮設住宅に求めることはなんですか？

- 飼養者と非飼養者、ペットと人間のエリア分け
- ペット専用の飼養場所の確保
- ペットに関するルール、マニュアルの整備
- ペットとの室内同居

Q：避難所や仮設住宅においてペット飼養者と非飼養者がお互いに気持ちよく過ごすためには、どのような工夫が必要だと思いますか？

- 飼養者、非飼養者、ペット専用スペース等のエリア分け
- 飼養者、非飼養者双方の相互理解
- しつけやマナー向上などの飼い主側の意識改革
- 衛生対策の徹底

Q：ペットに関することで今一番関心のあることは何ですか？

- ペット防災について
- しつけ、マナー、モラルなどの飼い主の意識改革、啓蒙啓発について
- 動物愛護管理法の法改正について
- 動物愛護と福祉について